



▲巨大な構造材の組み立てを行う陸上自衛隊東北方面隊第2施設団。

写真提供 陸上自衛隊東北方面隊

沿岸部の幹線道路 国道 45 号は、水尻川を渡って石巻方面から南三陸町の中心部 志津川地区に入る。東日本大震災の津波は、南三陸町沿岸部の橋という橋を破壊した。水尻川の河口近くにあった水尻橋も、津波で右岸の陸地が大きくえぐり取られて崩落。志津川地区と戸倉地区や石巻方面を結ぶ大動脈が不通となった。

このため、志津川地区に緊急車両が入るためには、登米市東和町方面からアクセスするしかなくなった。

自衛隊は震災の1週間後、仮設橋を完成させたが、夜は緊急車両しか通れなかった。その後、2011（平成23）年4月下旬に一車線交互通行できるようになり、同年5月18日二車線の仮設橋建設が行われた。

この橋がかかったことで、戸倉地区と志津川地区の往来もできるようになり、石巻方面からのアクセスも可能となった。

これにより、南三陸の物流の生命線がついに復活し、復旧作業に大きなはずみがついた。